

令和4年11月1日

忍岡小
だより



台東区立 忍岡小学校
Shinobugaoka Elementary School

〒110-0008 東京都台東区池之端2丁目1番22号
TEL : 03-3822-4661 FAX : 03-5685-3591
HP : <http://www.taitocity.net/shinobu-es/>

校長 松田 正昭

リスペクト ー相手に敬意を払こと、尊重し合うことー

校長 松田 正昭

11月20日からカタールで「FIFAワールドカップカタール2022」が開催されます。これは、国際サッカー連盟が主催するサッカーの4年に一度の世界選手権大会で、日本も7大会連続で出場します。試合は世界各地で放映され、視聴者数も多く、オリンピックに匹敵するほどともいわれています。今大会でも、各国を代表する選手たちが白熱した試合を展開してくれるものと楽しみにしています。

サッカー選手や監督がインタビューを受けている際に、「リスペクト」という言葉を使用しているのを聞いたことがあります。日本サッカー協会、Jリーグ等では、リスペクトの重要性を認識して「リスペクトプロジェクト」に取り組んでいます。リスペクトの本質を、常に全力を尽くしてプレーすること、そして、それはフェアプレーの原点であるととらえています。仲間、対戦相手、審判、指導者、用具、施設、保護者、大会関係者、サポーター、競技規則、サッカーというゲームの精神など、サッカーを取り巻くあらゆる多様な関係の中でとらえ、「大切に思うこと」としています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は、サッカーの試合開始前に両チームの主将が握手をしてペナントを交換する様子をよく見ることがありました（ペナントとは、一般的には細長い三角形の小旗ですが、実際は様々な形の物があります）。試合前の握手やペナント交換には、「正々堂々と戦いましょう」「これからもスポーツマンとしてよい関係を築いていきましょう」という意味が込められているそうです。これは、互いに「相手に敬意をもつ」「尊重し合う」という「リスペクト」を具現化している姿だと思います。過去に年代別サッカー日本代表の主将を務めたことがある選手に、試合開始前の握手やペナント交換の時に、相手の主将とどのような言葉を交わしているかを聞いたことがあります。すると、「相手の主将には『Good Luck.』と笑顔で伝えて、お互いフェアにもてる力を精一杯発揮することを確認し合っています。また、審判からもよく同じように言葉をかけられます。」と話していました。正に、リスペクトの精神は、世界に通じる大切な資質の一つになる可能性があると考えます。

今後はますますグローバル化や多様化、DX、地球環境問題等、複雑で変動的、曖昧性の時代になることが予測されます。先行き不透明で将来の予測が困難な社会を生き抜いていくためには、望む未来を自分たちで示し、創っていくことが求められる時代ともいわれます。学習指導要領では、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになることが求められると示されています。私たち一人一人の思いや願い、考え、発想、価値観等は違います。一人一人の多様な幸せとともに、あらゆる他者を尊重し、社会全体の幸せでもあるウェルビーイングの実現を目指すためにも、学校教育が果たす役割の重要性を認識し、いっそう充実を図ってまいりたいと思います。

個人面談のお知らせ

以下の日程で、個人面談を実施致します。

お子さんの今後のよりよい成長のために、学校や家庭での様子や日頃のがんばり等を共有していきたいと思っております。11月中旬までに日程を確定し、お知らせ致します。よろしくお願い致します。

日程 11月28日(月)、29日(火)
12月1日(木)、5日(月)、6日(火)

11月19日(土) 土曜学校公開日について

11月19日(土)は学校公開日ですが、この日は音楽会のため、教室での授業は公開をしていません。音楽会の時間に合わせて、ご来校くださいますよう、お願い致します。

🎵 音楽会のお願い 🎵

児童が発表に集中できるよう、演奏中の会場への入退室はご遠慮ください。誘導係の合図があるまでお待ちください。また、携帯電話・スマートフォンはマナーモードにし、フラッシュを使用した撮影はお控えください。鑑賞にいらっしゃった皆様が楽しめるよう、《ビデオカメラ等の撮影は頭の高さより下の位置》でお願いします。

音楽会の詳細につきましては、後日配布致します。お便りをご確認ください。

10月18日(火) 6年生 連合運動会

台東区リバーサイド陸上競技場に、台東区内の小学6年生が集まり、連合運動会が行われました。緊張感があったようですが、一人一人が自分の最高記録を目指して力を出し切りました。

～入賞者紹介～

【男子走り幅跳び】 第1位入賞
(記録：452cm)

【女子走り高跳び】 第1位入賞
(記録：119cm)

【女子50mハードル走】 第10位入賞
(記録：10.4秒)

11月 行事予定

日	曜	行事
1	火	社会科見学(5) 中休みマラソン練習終
2	水	マラソン大会 [通常掃除なし 14:15 下校]
3	木	【文化の日】
4	金	マラソン大会予備日 委員会活動
5	土	
6	日	
7	月	児童朝会 
8	火	避難訓練(不審者対応訓練)
9	水	読み聞かせ(1・5) たてわり遊び
10	木	音楽朝会
11	金	連合音楽会(5)
12	土	
13	日	
14	月	児童朝会
15	火	安全指導日
16	水	読み聞かせ(2・3)
17	木	体育朝会 音楽会準備(6)
18	金	音楽会(児童鑑賞日) 代表委員会
19	土	土曜学校公開日 音楽会(保護者鑑賞日)[短縮時程]
20	日	
21	月	児童朝会
22	火	
23	水	【勤労感謝の日】 
24	木	勤労感謝集会 午後オンライン授業[通常13時下校]
25	金	高齢者障害者疑似体験(4) クラブ活動
26	土	
27	日	
28	月	児童朝会 個人面談1日目
29	火	個人面談2日目
30	水	読み聞かせ(1・4・6) 4時間授業

4年生 10月12日 社会科見学

4年生が、社会科見学で府中市郷土の森博物館と深大寺に行きました。郷土の森博物館ではくらやみ祭や府中市の歴史について学びました。深大寺ではお蕎麦を食べて、歴史についてお話を聞きました。東京都の文化財や年中行事についてたくさん学ぶことができました。

私が今回初めて知ったことは、2つあります。1つ目は、くらやみ祭についてです。700年以上続いていることや調布市の人以外にも祭りに参加して、毎年約80万人以上の見物客が来ることを知って驚きました。2つめは深大寺についてです。都内で2番目に古く、1300年前の奈良時代から続いていることを知り、東京にもこんなに古いお寺があるのだなと驚きました。国宝の釈迦如来像も古いけど美しかったです。

私は府中市と調布市に行った社会科見学で、特に心に残ったことは深大寺の本堂で説明を聞いたことです。最初は深大寺について「だるま市」しか知りませんでした。ですが、深大寺に行って、おそばが有名だったことも知りました。深大寺には国宝があることを知ってもっと驚きました。その国宝は深大寺ができる前の飛鳥時代にできたことに、さらに驚きました。また深大寺に行ってもっと深大寺のよさを知りたいです。

私は、府中市、調布市に行って一番勉強になったところは府中市郷土の森博物館です。くらやみ祭がとても有名な祭だということ、お祭りを一週間かけてやるなど調べていたけど知らないことをたくさん知れてよかったです。私が特に知れてよかったと思ったことは役割によってはんてんの色がちがうことです。「白いはんてんを着ている人はおみこしを担ぐ人」のように決まっていることにおどろきました。

ぼくが今回の社会科見学で一番印象に残ったことは深大寺の国宝の仏像とお坊さんの説明です。なぜなら飛鳥時代というはるか昔に作られた仏像なのにまだしっかりと残っているところです。また、深大寺が1300年ほど前に作られているということもすごいいいと思いました。また、くらやみ祭りの名前の由来が真っ暗の中でおみこしをかつぐからというのがおもしろいと思いました。それとお昼に食べたそばがとてもおいしかったです。

ぼくは今回社会科見学に行って、特にすごいと思ったのは、深大寺について教えてもらった内容です。深大寺は、周辺の水が豊かなので深沙大王という水の神様をまつています。昔は深沙大王寺という名前だったそうです。深沙大王をまつているお寺は日本でも数少ないそうです。ぼくは、今まで深大寺というお寺の存在すら知りませんでした。今回知った内容を家族にも伝えてあげたいです。

府中市と調布市に行ってきました。府中市では、博物館でくらやみ祭りが何年前からやっているかなどのお話を教えてくれてうれしかったです。調布ではお坊さんが深大寺についての説明をしてくれて本物の国宝などを見せてくれて、さらにお守りもくれてとてもうれしかったです。昼ご飯ではそばをみんなで食べておいしかったです。さすがそばが有名だなと思いました。また今度みんなでいきたいなと思いました。



ぼくは、府中市郷土の森博物館に行って、まじないの道具や土器、アクセサリーを見ました。そしてよく見ると全ての物が土や石、レンガでできていて、驚きました。なぜなら、何千年もの間、壊れずに残っているからです。また、19種類の国のスタンプがあったことにも驚きました。国ごとにスタンプがあるのは、いろいろな国と国が物々交換をしていたからだそうです。そのことをすごいなと思いました。

深大寺では、「深大寺」の名前は「深沙大王寺」から取ったということや奈良時代にできたということを知ることができました。深大寺の国宝、釈迦如来像の昔の姿が色もあってきれいでした。昔は忍岡小学校や上野駅など、いろいろな所が寺だということを知って、びっくりしました。府中市郷土の森博物館では、昔のお金の千文が今の30万円で、持ってみたらすごく重かったです。太鼓は昔から今まで、どんどん大きくなっていることが分かりました。

ぼくは社会科見学でとても貴重な経験ができました。府中市郷土の森博物館では、昔の人のくらしや使っていた道具について、知ることができました。昔は今と同じ金額でも、銭を大量に使うため、今よりも重かったということがよく分かりました。深大寺では、国宝の釈迦如来像が銅でできていることや何度か火災があり、それにより釈迦如来像が黒くなってしまったことや、山門は焼けずにすんだということを知りました。

府中市郷土の森博物館では、くらやみ祭について知ることができました。ぼくがすごいと思ったことは、山車が22台もあり、神輿も8台あるということと、太鼓は2mもの大きさがあるということです。とても盛大な祭ということが分かりました。他にも、暗い中で馬に乗る行事が行われていることと、万灯大会で使われている万灯の上のかざりはできのいい物が優勝するということが分かり、面白かったです。

私は、社会科見学に行って、深大寺のお話がとても興味深いと思いました。なぜなら、国宝の実物を見ることができたり、深大寺は約1300年前からあること、また深大寺の名前の由来を知ることができたからです。府中市郷土の森博物館の展示物も勉強になりました。例えば、旧石器時代の人々はチャートという石だけでなく、水晶や黒曜石などでも石器を作っていたということです。この機会に府中市や深大寺のことをよく知りたかったです。

私が心に残ったことは二つあります。一つ目は、府中市郷土の森博物館で見た銅銭です。銅銭千枚で3.7kgの重さです。実際に持ってみたらすごく重かったです。二つ目は、深大寺そばです。私はもともとそばがあまり得意ではありません。ですが、深大寺そばは麺が細くつるつるしていてとてもおいしかったです。深大寺には見どころがたくさんあったので、また行きたいです。